



東洋英和女学院大学

2025 年度 国際関係研究所シンポジウム

翻訳と文化の変容

2025 年 11 月 29 日(土) 10:30~12:00

東洋英和女学院大学大学院 201 教室

海外文学は、多くの場合、翻訳を経て日本の読者に届けられます。文芸翻訳は、単なる言語の置き換えにとどまらず、複数の文化を媒介する営みでもあります。そのプロセスが日本文化にもたらし得るものは何か——。情報・人・モノが日常的に国境を越えて移動し、「内なる国際化」が進む現在、翻訳を通じた海外文学の移入と、その文化的影響について考えます。



写真 石川真魚

金原 瑞人 氏

(法政大学名誉教授・翻訳家)

訳書に『青空のむこう』

『国のない男』

『パーティミアス』シリーズなど



写真 大杉隼平

越前 敏弥 氏

(翻訳家)

訳書に『ダ・ヴィンチ・コード』

『ロンドン・アイの謎』

『オリンピア』など



写真 サトノリユキ

三辺 律子 氏

(翻訳家)

訳書に『エヴリデイ』

『ダリウスは今日も生きづらい』

『龍のすむ家』シリーズなど

司会: 金子 真奈美 (本学 国際コミュニケーション学科講師)

主催: 東洋英和女学院大学国際関係研究所

共催: 大学院国際協力研究科、港区麻布総合支所

会場: 東京都港区六本木 5-14-40

お問い合わせ: 電話 045-922-7272(月・水)

申込方法: 11 月 25 日(火)までにメールにて、氏名・連絡先と年齢・職業(任意)をお知らせください。参加費は無料です。

kokusaiken@toyoeiwa.ac.jp